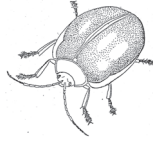


たんぽう



兵庫県養父市丹戸でオオシモフリヨトウを採集

高橋輝男

2022年7月20日に養父市丹戸の鉢伏高原（標高1,050m）でライトトラップを行ったところ、23時30分頃に一頭のオオシモフリヨトウ *Polia goliath* (Fig.1) が飛来した。開張は65.0mmの♀であった。

オオシモフリヨトウは、東北アジアに特産する大型の *Polia* で、沿海州、朝鮮、日本、中国、台湾の山地に生息し、年1化で7-9月に出現する。日本では主に北海道および本州の山地に産し、四国の石鎚山系にも記録がある。

当県における本種の記録は、山本の1955年の氷ノ山と1974年の鉢伏高原での2例の採集記録のみで、それ以降には報告は見当たらなかった。

【採集記録】兵庫県養父市丹戸（鉢伏高原），20.VII.2022.1♀.



Fig.1 オオシモフリヨトウ♀（開張65.0mm）.

○参考文献

山本義丸, 1956. 氷ノ山の蛾類について（第二報）. 兵庫生物, 3 (3) : 121-123.

山本義丸, 1997. 兵庫県で採集した蛾の記録. きべりはむし, 25 (2) : 54-57.

(Teruo TAKAHASHI 兵庫県神崎郡福崎町)

神戸市西区でのヒメボタルの生息地の続報と新たな生息地

久保彬葉・久保柚葉・久保嘉靖

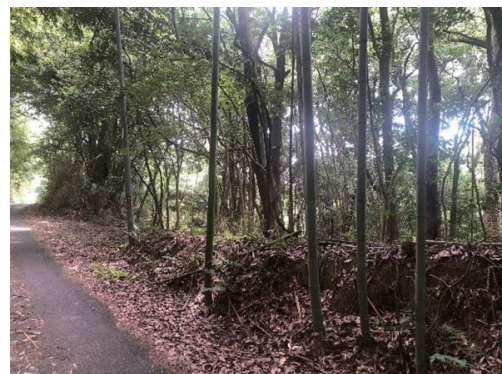
神戸市内におけるヒメボタルの生息は北区中心に六甲山、丹生山周辺の報告に限られており、神戸市西部においてヒメボタルの報告は見当たらなかった（八木, 2007）。しかし、著者らはホタルの自由研究中に偶然にも神戸市西区にてヒメボタルの生息地を発見し初報告をした（久保, 2023）。2024年6月、初報告場所である宝光坊川のさらに150mから200m上流においてもヒメボタルの生息を確認した。山道は、途中から倒木により奥には進めなかったが、宝光坊川流域一帯にはヒメボタルが生息している可能性がある。

また、新たに神戸市西区内でヒメボタルの生息地を発見したので報告する。2024年6月、西区押部谷町近江の近江寺周辺にてヒメボタルの生息を確認した（生息地写真1, 写真2）。オスとメスを採取した（写真3, 写真4）。

オスとメスを一緒に飼育し、産卵するか観察した。産卵場所用に、湿らせたコケを用意した。しかし、翌日にメスは死んでしまい、卵も確認出来なかった。

周辺の近江寺川周辺には、ゲンジボタル、ヘイケボタルも生息しているのも確認出来た。

前回の報告に引き続き西区内でヒメボタルの生息地2か所目を発見出来た。どちらも近くに川があり、ほとんど開発されていない場所であった。



生息地写真1.



生息地写真2.